海外安全対策情報

1 治安情勢

- (1) メキシコ公安省の発表では、グアナファト州の2020年度第2四半期（2020年7月～9月）の犯罪発生認知総数は30,417件と、前期比（2020年4月～6月）15.13%増となっている。6月ごろから経済活動が徐々に緩和されたことにより空き巣や強盗等の一般犯罪が増加したこと、また、8月には同州を拠点として活動していた主要犯罪組織サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）のリーダーであるエル・マロが逮捕され、一旦落ち着くかと思われた殺人事件発生件数が、同犯罪組織内のリーダーの座を奪い合う内部抗争や、CSRLの弱体化を狙い他州の犯罪組織が勢力拡大を目的に抗争を激化させたことにより増加したことが要因であると思料される。故意殺人事件の認知件数については866件と前期比2.6%増加し、車両強盗に関しては597件と前期10.7%減少、店舗・事務所強盗に関しては810件と前期比1.6%増加、家屋強盗に関しては106件と前期比16.4%増加している等、全体的に犯罪発生件数は増加傾向に転じた。
- (2) 同州内で発生している故意殺人事件の8割以上が麻薬やガソリン窃盗組織との抗争によるものと治安当局より報告を受けているため、不特定な人物を狙っての犯行ではないと認識している。しかしながら、治安当局やこれら犯罪組織同士との銃撃戦や銃を利用した殺人が頻繁に州内で発生するなか、銃の流れ弾による一般人の死傷事件が発生していることから、引き続き在留邦人に対する注意喚起が必要である。
- (3) 更に、同州では故意殺人事件と同様に麻薬売買に関する事件が2018年8,739件に対して、2019年9,440件発生（全州1位のバハカリフォルニア州10,307件に次いで2位）、本年は9月の段階で10,473件と既に前年の認知件数を超過しており、故意殺人事件数増加に比例して麻薬に関する認知件数が増加していることから、背景には麻薬に関する事件が紐付いていることが理解できる。特にレオン市の麻薬売買に関連する事件の認知件数に関しては、2018年7,232件、2019年は7,176件となっており、本年においては9月段階の認知件数が8,761件と前年数を既に上回っており、且つこれら数値はグアナファト州全体（10,694件）の81.9%を占めていることから、レオン市では麻薬に関連する故意殺人事件数が非常に多いと判断される。

2 管轄地域内における一般犯罪の傾向（2020年7月～9月） ※前期2020年4月～6月

(1) グアナファト州 犯罪認知総数 30,417件（前期比15.1%減）

※レオン市では拳銃を利用した故意殺人事件や強盗事件、セラヤ市及びサラマンカ市周辺では車両強盗や輸送車両強盗が引き続き増加傾向にあるため注意が必要。

ア 故意殺人	866件（前期比 2.6%増）
イ 故意傷害	2691件（前期比13.7%増）
ウ 車両強盗	597件（前年比10.7%減）
エ 店舗・事務所強盗	810件（前年比 1.6%増）
オ 路上強盗	25件（前期比 4.1%増）
カ 空き巣	909件（前期比21.2%増）
キ 店舗・事務所荒らし	812件（前年比 2.9%増）
ク 脅迫・恐喝	2,110件（前期比17.2%増）
ケ 麻薬売買	3,704件（前期比18.7%増）

(2) アグアスカリエンテス州 犯罪認知総数 8,390件（前期比14.2%増）

※コロナ感染対策による自粛が緩和され一般犯罪の発生件数が徐々に増加傾向にある。特に店舗・事務所強盗や路上強盗、空き巣に注意する必要がある。

ア 故意殺人	18件 (前期比21.7%減)
イ 故意傷害	886件 (前期比 3.0%減)
ウ 車両強盗	13件 (前年比 増減なし)
エ 店舗・事務所強盗	42件 (前年比23.5%増)
オ 路上強盗	135件 (前期比28.5%増)
カ 空き巣	572件 (前期比19.1%増)
キ 店舗・事務所荒らし	437件 (前年比12.3%増)
ク 脅迫・恐喝	774件 (前期比 7.9%増)
ケ 麻薬売買	541件 (前期比18.5%減)

(3) ハリスコ州 総数 32,072件 (前期比11.1%増)

※コロナ禍が続いていることで犯罪発生件数自体は微増傾向にあるが、特に空き巣や店舗・事務所荒らしの侵入被害が増加していることから注意が必要。

ア 故意殺人	422件 (前期比 5.1%減)
イ 故意傷害	1,835件 (前期比 増減なし)
ウ 車両強盗	1,149件 (前年比 3.6%減)
エ 店舗・事務所強盗	1,669件 (前年比 0.7%増)
オ 路上強盗	1,904件 (前期比16.3%増)
カ 空き巣	1,121件 (前期比32.5%増)
キ 店舗・事務所荒らし	984件 (前年比25.5%増)
ク 脅迫・恐喝	2,434件 (前期比 3.5%増)
ケ 麻薬売買	232件 (前期比11.5%増)

(4) ケレタロ州 総数 13,584件 (前期比22.1%増)

※コロナ感染対策による自粛が緩和され、一般犯罪が全体的に増加傾向にある。車両強盗や空き巣、路上窃盗、車上荒らしが増加しているため注意が必要。

ア 故意殺人	50件 (前期比35.1%増)
イ 故意傷害	1,288件 (前期比11.2%増)
ウ 車両強盗	167件 (前年比30.4%増)
エ 店舗・事務所強盗	245件 (前年比15.0%増)
オ 路上強盗	199件 (前期比 8.1%増)
カ 空き巣	644件 (前期比21.9%増)
キ 店舗・事務所荒らし	599件 (前年比32.5%増)
ク 脅迫・恐喝	1,004件 (前期比37.5%増)
ケ 麻薬売買	240件 (前期比 6.1%増)

(5) サンルイスポトシ州 総数 11,938件 (前期比23.4%増)

※1月頃から犯罪発生数は全体的に減少していたものの、7月からは増加傾向にある。

故意殺人事件は前年総数(453名)を既に超えており(9月時点463名)治安状況の変化に注視が必要。また強盗や窃盗犯罪が急増している。

ア 故意殺人	194件 (前期比34.7%増)
イ 故意傷害	981件 (前期比15.0%増)

ウ 車両強盗	71件 (前年比22.4%増)
エ 店舗・事務所強盗	247件 (前年比32.8%増)
オ 路上強盗	150件 (前期比33.9%増)
カ 空き巣	275件 (前期比18.0%増)
キ 店舗・事務所荒らし	180件 (前年比46.3%増)
ク 脅迫・恐喝	801件 (前期比20.8%増)
ケ 麻薬売買	369件 (前期比1.6%減)

(6) サカテカス州 総数 5,784件 (前期比11.2%増)

※コロナ感染対策による自粛が緩和され、一般犯罪が全体的に増加。

故意殺人事件が昨年(510件)の数値を既に超えており(9月時点544名)治安状況の変化に注意が必要。

ア 故意殺人	203件 (前期比3.0%増)
イ 故意傷害	496件 (前期比0.4%減)
ウ 車両強盗	98件 (前年比19.5%増)
エ 店舗・事務所強盗	16件 (前年比30.4%減)
オ 路上強盗	5件 (前期比増減なし)
カ 空き巣	55件 (前期比3.7%増)
キ 店舗・事務所荒らし	16件 (前年比23.0%減)
ク 脅迫・恐喝	304件 (前期比3.4%増)
ケ 麻薬売買	81件 (前期比8.0%増)

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナファト州内では、麻薬やガソリン窃盗に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生している。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けると共に、違法薬物には一切かかわらないこと、また夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意が必要である。
- (2) 次に、銃器を利用した強盗も増加している。この様な事件に巻き込まれないためにも、発出される領事メール等を参考に、行動の制限(犯罪が多発する時間帯の外出制限, 事件多発地域への通行を避ける等)を行うことで、被害に遭うリスクを下げる事が重要である。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために打たれる死傷事件が少なからず発生している。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従うことが重要である。
- (3) そして、コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが、引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品の放置に注意が必要である。
- (4) 最後に、バヒオ地区内では空き巣被害の上昇が目立つ。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911通報し警察官同行のもと住居内の確認を行うこと。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行であっても必ず警察官の到着を待つこと。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず 911 番通報（警察、消防、救急への緊急通報番号）を行うよう心掛ける。また、犯人の逮捕を希望する場合は、必ず検察局（Ministerio Publico）に被害届を提出する。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなる。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、当地の邦人の皆様への的確な治安対策をアドバイスすることができると共に、当地治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力いただきたい。

5 日本人被害の犯罪発生状況（2020年7月～9月）

バヒオ地区における邦人被害数は、前期（2020年4月～6月）4件であったのに対して、今期（2020年7月～9月）は7件であった。なお、引き続き拳銃を利用した強盗事案が目立つため注意が必要。

被害日時	被害地域	被害場所	被害者	事件種別	被害状況
7/5（日） 14:00	グアタマ州 セヤ市郊外	45号線（ケル 方面）道路上	在留邦人 男性 同乗のメ 人	発砲	被害者が45号をケル方面に向けて走行中、前方の車がスピードを落とし蛇行運転等を繰り返したため、同車両が左側車線に入ったところで、右側車線からスピードを上げて追い抜こうとした。追い越す際に犯人車両の助手席側から男が拳銃をこちらに向けており、追い抜いた後に発砲音が聞こえたが、危険を回避するため加速してその場から逃れたところ、助手席に座っていたメの足に被弾していたことが判明、直ぐに病院へ搬送し大事には至らなかった。事情聴取に訪れた治安当局関係者から「最近、45号線付近で同様の車両を利用した車両強盗事件が頻発している。」と注意を受けた。
7/9（木） 13:00	グアタマ州 シオ市	Puerto Interior 内スターバックス駐車場	在留邦人 男性	窃盗 （車上狙い）	駐車場に駐めていた車両の左後部座席の窓が割られ、後部座席に置いていた空のリックとトランクに置いていた作業資材が盗まれた。当時、被害者の知り合いの車両（運転手が車内で待機）も被害車両の2台隣に駐車していたが、犯行には気づかなかった。また、駐車上には警備員等は配置されていなかった。
7/13 （月） 12:00	ケル州 ケル市	自宅	在留邦人 男性	恐喝	被害者の携帯電話番号のSMSに麻薬カルテルの構成員と名乗る者より「20万ペソを24時間以内に振り込まなければお前と家族に危害を加える。」旨の文章が名指し（綴りは少し違っていた）で送られてきた。続けて被害者の住む住居区や会社の写真（ストリートビューを使用したと史料）が送付されてきたため911へ通報した。なお、その間

					もインターネットから取ってきた暴力的な写真等が次々と送られてきた。 被害者はお金を振り込むことなく、一時期住居から避難したが、その後実害はなし。
8/10 (月) 19:50	グアタマ州 レオン市	商店 (Carretera Comanjilla 幹線道路沿い)	在留邦人男性	強盗	シオ市からレオン市に向け帰宅中、幹線道路から外れた一般道にある商店へ立ち寄った。買い物を終え店から出た際、3人組の犯人の男達が、駐車していた被害者の車の後部座席のガラスを割り、中に置いていた鞆等を物色しているのを目撃。被害者は犯人達に近づきもみ合いになったが、犯人達に鞆を奪われ逃走された。被害者に怪我はなし。
9/1 (火) 15:30	ハリコ州 グアタマラ市	路上	在留邦人女性	強盗	自宅から買い物に行くため、一方通行の道路の歩道を歩いていたところ、前方に1台のセダンが停車した。同車両からけん銃らしき物を所持した男が降りてきて被害者に近付き、鞆を渡すよう脅してきた。被害者は犯人の指示に従い、携帯電話や財布等在中の鞆を手渡すと犯人は乗ってきた車両で逃走した。 被害者に怪我等はなかった。
9/8 (火) 21:00	グアタマ州 レオン市	日本食レストラン	在留邦人女性従業員 及びメキシコ人従業員 5名	強盗	閉店後の清掃作業中、けん銃らしき物を所持した5人の犯人グループが店内に押し入り、その場にいた従業員数名を脅して拘束した。犯人達は店内の現金及び従業員の所持品（携帯電話や財布）等を奪い車両で逃走した。 なお、被害時店内に客はおらず、従業員も犯人達の指示に従ったため、怪我等はなかった。
9/30 (水) 20:00 頃	グアタマ州 レオン市	Centro Max 前 Sirloin レストラン	在留邦人男性	窃盗 (車上狙い)	レストラン駐車場に車両を駐車して食事をして戻ると、後部座席のガラスが割られ、車内に置いてあったカバン（旅券、パソリン、クレジットカード等在中）が盗まれた。

以上